

本件は、環境省と同時発表です。

平成 22 年 7 月 9 日(金)

平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷低減等技術)における実証対象技術の 募集について

財団法人 建材試験センター

当センターは、平成 22 年度環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）」における実証機関として選定されました。

「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）実証試験要領（第 3 版）」に基づき、実証対象技術の募集を行いますので、お知らせいたします。

1. 実証対象技術

実証対象とする技術は、建築物（事務所、店舗、住宅など）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって人工排熱を減少させるなど、ヒートアイランド対策効果が得られるもの（ただし緑化は除く）とします。

実証対象技術には、窓用日射遮蔽フィルム、窓用コーティング材、窓用後付複層ガラス、高反射率建材などが該当します。（詳細は別紙をご覧ください。）

2. 募集期間

平成 22 年 7 月 9 日（金）より

平成 22 年 8 月 3 日（火） 17：00 まで〔必着〕

3. 提出資料

実証申請書ほか（詳細は、別紙をご覧ください。）

【別紙】

平成22年度環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）における実証対象技術の募集について 〔詳細〕

(1) 実証対象となる技術について

当センターにおいて、実証対象とする技術は、以下に示すとおりとします。

表-1 実証対象技術

想定される技術	技術の概要
窓用日射遮蔽フィルム	窓ガラスにフィルムを貼付することで、日射を遮へいし、又は、断熱性を向上させ、建築物内部への日射熱取得量又は貫流熱量を減少させる技術。
窓用コーティング材	窓ガラスにコーティング材を塗布することで、日射を遮へいし、建築物内部への日射熱取得量を減少させる技術。
窓用後付複層ガラス	既存窓ガラスを複層化することにより、断熱性能を高め、冷暖房負荷を低減する技術。
高反射率建材	建物の屋根・屋上に塗布・貼付することで、建物表面における日射反射率を高め、表面温度を抑制、建築物内部への熱流量を減少させる技術。 (例：高反射率塗料（遮熱塗料）、高反射率防水シート、高反射率瓦)
その他	上記目的に合致する技術は幅広く対象とする。 (例：窓用ファブリック、高反射率ブラインド、日射遮蔽網戸、開口部用後付建材、屋根用日除けシート、屋根・屋上用保水性建材※1)

※1：対象となる屋根・屋上用保水性建材は、性能及び環境保全効果等が実証可能と判断できるものに限り、ます。

(2) 実証試験計画（案）について

各技術の実証試験計画書（案）は、当センターのウェブサイト上に公開しております。下記 URL をご参照下さい。

URL：http://www.jtccm.or.jp/heat/H22_jissyo/gijutsu_koubo/plan.html

(3) 実証試験手数料

この事業は、手数料徴収体制で実施しております。そのため、実証試験に係る費用は、申請者に手数料（実証試験手数料）として負担して頂くこととなっております。

なお、実証試験手数料は、選定の連絡後発行する請求書に基づいてお支払い頂きます。お支払期限日までにお支払い頂けない場合、実証試験を中止することがありますのでご注意ください（支払日に関して調整を行う事は可能ですので、御相談下さい）。

現時点（平成 22 年 7 月 9 日現在）で検討している技術毎の実証試験手数料は、以下に示すとおりです。これは基本料金であり、オプション計算の料金を含んでおりません。オプション計算の料金については、別途お問い合わせ下さい。

表-2 実証試験手数料

実証対象技術の分類		実証試験手数料〔円（税抜き）〕
窓用日射遮蔽フィルム		252,000
窓用コーティング材		306,000
窓用ファブリック		306,000
日射遮蔽網戸		271,000
窓用後付複層ガラス※		179,000
高反射率瓦	(1 色)	169,000
	(2 色)	217,000
	(3 色)	265,000
高反射率防水シート	(1 色)	159,000
	(2 色)	207,000
	(3 色)	255,000
高反射率塗料	(1 色)	200,000
	(2 色)	280,000
	(3 色)	359,000
高反射率ブラインド	(1 色)	139,000
	(2 色)	175,000
開口部用後付建材（外側）		364,000
開口部用後付建材（内窓）		291,000
屋根用日除けシート		289,000

※加速耐久性試験の費用は含まれておりません。

注) 実証項目の変更等が生じた場合は、実証試験手数料額を改めて確定いたします。

(4) 提出資料について

実証試験を希望する申請者は、以下に示す資料を各1部提出して下さい。

- a) 申請書類受理票※¹【必須】
- b) 実証申請書※²【必須】
- c) 実証対象製品の基本仕様書又はパンフレット【必須】
- d) 施工マニュアル【必須】
- e) 自社又は第三者機関による試験成績書※³

※1：電子データを別途お送り下さい（宛先：heat_22@jtccm.or.jp）。

※2：該当する資料がある場合、実証申請書に添付する。

実証申請書および申請書類受理票は、当センターのウェブページ「実証対象技術の募集について」(http://www.jtccm.or.jp/heat/H22_jissyo/gijutsu_koubo.html)からの入手をお願い致します。

(5) 提出方法

(4)に示す提出書類を、郵便・宅配便等にてお送り下さい。なお、実証申請書は、メールにて電子データをお送り下さい。

【募集期間】

平成22年 7月 9日（金）より

平成22年 8月 3日（火）17：00まで〔必着〕

【提出先】 宛先部署 : 財団法人建材試験センター 経営企画部 調査研究課
担当 : 菊地、村上
郵便番号 : 〒340-0015
住所 : 埼玉県草加市高砂2丁目9番2号アコス北館Nビル
TEL : 048-920-3814
E-Mail : heat_22@jtccm.or.jp

(6) 実証スケジュール

本年度当センターが行う実証事業は、以下に示すスケジュールにて行う予定です。

月度	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実証対象技術の募集	■	■							
実証対象技術の選定		■							
実証試験計画の作成		■							
実証試験の実施		■	■	■	■	■	■	■	
実証試験結果報告書の作成								■	■
環境省への報告									■

(7) その他

- 特許に関する調整事項がある場合は事前に調整を済ませておいてください。
- 当事業において、実証対象技術の情報は可能な限り公開していくこととしておりますが、公開できない情報につきましては別途相談ください。
- 実証試験の結果はすべて、実証試験結果報告書として、環境省および当センターのウェブサイト上で公表します。
- 本事業は、実証対象技術の性能を客観的に試験し、その結果を公表するものであり、その技術について、認証や認定を与えるものではありません。
- 申請書をお送り頂く際、製品の小片（表面性状が明確に分かるもの）を添付してお送り下さい（屋根・屋上用保水性建材に限る）。
- 技術が選定された場合、8月下旬より実証試験を開始いたします。

【担当】

財団法人建材試験センター

経営企画部調査研究課

菊地・村上

TEL : 048-920-3814

E-Mail : heat_22@jtccm.or.jp